

平成19年度予算210億

緑と住みやすさを大切に さらに自立し 活力あるまちの実現を目指します

小平市長 小林正則



私が市長に就任して、2年が経過しようとしております。この間、公約実現に向けた取り組みを進め、小平市政の重要課題として、第三次の長期総合計画「こたけ21世紀構想」に基づきさまざまな改革のプログラムを進め、開かれた透明性の高い小平市の実現のために、全力で取り組む決意であります。

さて、社会全体を見るに、企業業績は好調に推移

していると言われているものの、家計部門への波及という面ではまだ弱い状況にあります。また、あわてて進行する少子高齢化を見通しながら、今までの延長線上ではない行政・財政の再構築が求められています。

このような情勢を展望しながら、引き続き3つの点を重点に置いて、市政を進めてまいります。

第1は、市民活動支援・市民参加の推進、第2は、計画に基づく諸事業の着実な推進、第3は、行政の再構築であります。

これらの実現のため、平成19年度一般会計予算につきましては、課題に積極的に対応するとともに、市民サービスの継続性にも配慮してまいります。

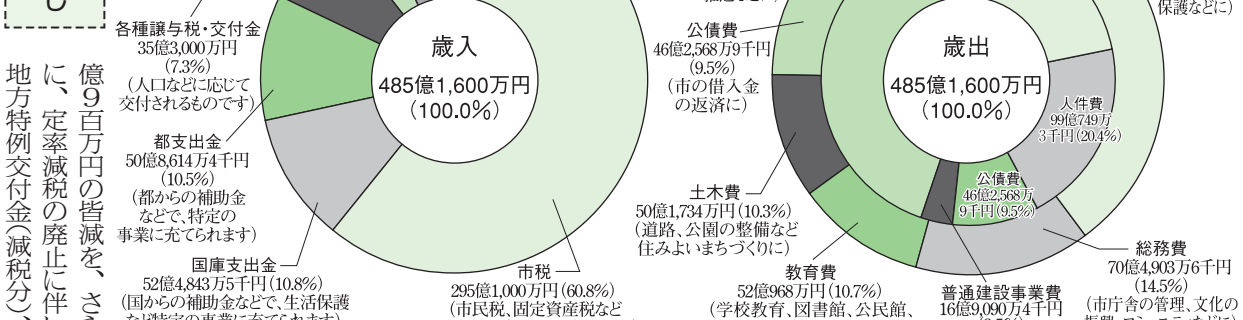
平成19年度予算決まる

予算総額 879億7,110万円

平成19年度予算が市議会3月定例会で可決されました。一般会計と5つの特別会計を合わせた予算総額は、879億7千110万円です。

区分	対前年度比較		増減率
	平成19年度	平成18年度	
一般会計	48,516,000	49,660,000	△2.3
国民健康保険事業	15,356,500	13,816,000	11.2
老人保健	10,456,400	10,611,800	△1.5
介護保険事業	7,728,100	7,359,500	5.0
下水道事業	5,142,500	5,231,700	△1.7
受託水道事業	771,600	1,165,000	△33.8
合計	87,971,100	87,844,000	0.1

一般会計予算の内訳



予算のあらまし

市税では、税源移譲としての税率のフラット化や定率減税の廃止などの税制改正などにより、前年度当初予算に比べ16億5千5百万円の増収を見込みました。

一方、税源移譲が住民税により本格的に実施されることに伴い所得課税は10億9千9百万円の増減を、さらに地方交付金の減を見込み、減税補てん償で8億4千3百万円の減を見込み、税制改正などによる収入分として2億2千万円の減を見込みました。(表1参照)

【表1】 税制改正などによる収入への影響額

項目	説明	対前年度増減額
市税	税制改正による個人住民税の増、家屋の新増築による固定資産税の増など	+16億5,200万円
所得課税	所得税から住民税への税源移譲により	△10億900万円
地方交付金	定率減税の廃止により	△8億4,300万円
合計		△2億円

【表2】 小平家の家計簿

項目	金額
毎月の収入	40万円
毎月の支出	40万円
給料(市税)	24万円
家族の医療費(扶助費)	9万円
食費(人件費)	8万円
光熱水費、電話代、生活雑貨費(物件費)	7万円
自治会費(補助費)	5万円
子どもへの仕送り(繰入金)	5万円
ローンの返済(公債費)	4万円
家のリフォーム、家電の購入(普通建設事業費)	1万円
その他(積立金など)	1万円
収入計	40万円
支出計	40万円

小平家の家計簿

小平家の家計に例えてみると、収入・支出ともに一般会計の予算額(約1億1千万円)に置き換えてみると、小平家では、毎月の生活に40万円が必要ですが、給料が24万円であるため、16万円の不足となっており、この不足額を家財などの貯蓄金(約11万円)の援助と毎月2万円の貯蓄の取り崩し、金融機関からの毎月1万円の借入金などで補っています。

小平市の基金と借金の残高見込み

項目	平成19年度	平成18年度
積立基金	95億2,837万円	102億3,028万円
※市債など	600億78万円	640億9,646万円

春の里山体験

里山保全地域(JR武蔵増戸駅集合) 定員 50人

内容 狭小丘陵の自然観察、多摩湖で水道教室

申込み期限 4月8日(日)

体験(あきる野市) とき 4月14日(土) 午前9時〜午後3時

体験(小平市) とき 4月28日(土) 午前9時〜午後4時

対象 都内在住の小学4年〜中学1年生

費用 500円

申込み 申込み期限まで



「そのためにはどんな事例にしたらいいか、」

「その際の論点、争点は何か」というテーマで討議をしました。

◆第4回市民の会議(3月16日の午後7時から、参加者32人)

3つの部会(こたけ、前年度に出された意見をまとめる「目標を達成するためのには、どんな事例にしたらいいか、」を討議すればいいか、というテーマで討議)しました。

「市民が活躍する小平市議会」

市民が活躍する小平市議会議員選挙立候補予定者の公開討論会 4月13日(金)午後2時〜5時。中央公民館

市民が活躍する小平市議会議員選挙立候補予定者の公開討論会 4月15日(日)午後2時〜5時。中央公民館

市民が活躍する小平市議会議員選挙立候補予定者の公開討論会 4月17日(火)午後2時〜5時。中央公民館

「市民が活躍する小平市議会」

市民が活躍する小平市議会議員選挙立候補予定者の公開討論会 4月13日(金)午後2時〜5時。中央公民館

市民が活躍する小平市議会議員選挙立候補予定者の公開討論会 4月15日(日)午後2時〜5時。中央公民館

市民が活躍する小平市議会議員選挙立候補予定者の公開討論会 4月17日(火)午後2時〜5時。中央公民館

「市民が活躍する小平市議会」

市民が活躍する小平市議会議員選挙立候補予定者の公開討論会 4月13日(金)午後2時〜5時。中央公民館

市民が活躍する小平市議会議員選挙立候補予定者の公開討論会 4月15日(日)午後2時〜5時。中央公民館

市民が活躍する小平市議会議員選挙立候補予定者の公開討論会 4月17日(火)午後2時〜5時。中央公民館

「市民が活躍する小平市議会」

市民が活躍する小平市議会議員選挙立候補予定者の公開討論会 4月13日(金)午後2時〜5時。中央公民館

市民が活躍する小平市議会議員選挙立候補予定者の公開討論会 4月15日(日)午後2時〜5時。中央公民館

市民が活躍する小平市議会議員選挙立候補予定者の公開討論会 4月17日(火)午後2時〜5時。中央公民館

「市民が活躍する小平市議会」

市民が活躍する小平市議会議員選挙立候補予定者の公開討論会 4月13日(金)午後2時〜5時。中央公民館

市民が活躍する小平市議会議員選挙立候補予定者の公開討論会 4月15日(日)午後2時〜5時。中央公民館

市民が活躍する小平市議会議員選挙立候補予定者の公開討論会 4月17日(火)午後2時〜5時。中央公民館

シリーズ自治基本条例

市民の会議で 話し合う19年度

◆市民の会議の構成

市民の会議では、現在、3つの部会に分かれて自治基本条例についての討議を行っています。部会のほか、運営委員会、作業グループを設けています。

◆市民の会議の構成

市民の会議では、現在、3つの部会に分かれて自治基本条例についての討議を行っています。部会のほか、運営委員会、作業グループを設けています。

◆市民の会議の構成

市民の会議では、現在、3つの部会に分かれて自治基本条例についての討議を行っています。部会のほか、運営委員会、作業グループを設けています。

「そのためにはどんな事例にしたらいいか、」

「その際の論点、争点は何か」というテーマで討議をしました。

◆第4回市民の会議(3月16日の午後7時から、参加者32人)

3つの部会(こたけ、前年度に出された意見をまとめる「目標を達成するためのには、どんな事例にしたらいいか、」を討議すればいいか、というテーマで討議)しました。

◆津田塾大学

費用 対象、保育の有無 申込み方法など、詳しくはお問い合わせください。

「そのためにはどんな事例にしたらいいか、」

「その際の論点、争点は何か」というテーマで討議をしました。

◆第4回市民の会議(3月16日の午後7時から、参加者32人)

3つの部会(こたけ、前年度に出された意見をまとめる「目標を達成するためのには、どんな事例にしたらいいか、」を討議すればいいか、というテーマで討議)しました。

◆津田塾大学

費用 対象、保育の有無 申込み方法など、詳しくはお問い合わせください。

「そのためにはどんな事例にしたらいいか、」

「その際の論点、争点は何か」というテーマで討議をしました。

◆第4回市民の会議(3月16日の午後7時から、参加者32人)

3つの部会(こたけ、前年度に出された意見をまとめる「目標を達成するためのには、どんな事例にしたらいいか、」を討議すればいいか、というテーマで討議)しました。

◆津田塾大学

費用 対象、保育の有無 申込み方法など、詳しくはお問い合わせください。

「そのためにはどんな事例にしたらいいか、」

「その際の論点、争点は何か」というテーマで討議をしました。

◆第4回市民の会議(3月16日の午後7時から、参加者32人)

3つの部会(こたけ、前年度に出された意見をまとめる「目標を達成するためのには、どんな事例にしたらいいか、」を討議すればいいか、というテーマで討議)しました。

◆津田塾大学

費用 対象、保育の有無 申込み方法など、詳しくはお問い合わせください。

「そのためにはどんな事例にしたらいいか、」

「その際の論点、争点は何か」というテーマで討議をしました。

◆第4回市民の会議(3月16日の午後7時から、参加者32人)

3つの部会(こたけ、前年度に出された意見をまとめる「目標を達成するためのには、どんな事例にしたらいいか、」を討議すればいいか、というテーマで討議)しました。

◆津田塾大学

費用 対象、保育の有無 申込み方法など、詳しくはお問い合わせください。

「そのためにはどんな事例にしたらいいか、」

「その際の論点、争点は何か」というテーマで討議をしました。

◆第4回市民の会議(3月16日の午後7時から、参加者32人)

3つの部会(こたけ、前年度に出された意見をまとめる「目標を達成するためのには、どんな事例にしたらいいか、」を討議すればいいか、というテーマで討議)しました。

◆津田塾大学

費用 対象、保育の有無 申込み方法など、詳しくはお問い合わせください。

「そのためにはどんな事例にしたらいいか、」

「その際の論点、争点は何か」というテーマで討議をしました。

◆第4回市民の会議(3月16日の午後7時から、参加者32人)

3つの部会(こたけ、前年度に出された意見をまとめる「目標を達成するためのには、どんな事例にしたらいいか、」を討議すればいいか、というテーマで討議)しました。

◆津田塾大学

費用 対象、保育の有無 申込み方法など、詳しくはお問い合わせください。

健康福祉を充実する

◆健康福祉を充実する

81万円

健康センター内応急診療所(午後7時30分〜10時30分)を365日実施、小児科医、内科医が常駐

2,163万円

国民健康保険被保険者のカード化

平成19年10月から、世帯単位で発行している被保険者証をカード化し、個人単位で発行

400万円

通所介護等利用者助成事業の実施

通所介護、通所レクリエーション、認知症対応型通所介護利用者への低所得者への食費補助の実施

1,452万円

成年見用活用あんしん生活創造事業の実施

平成19年10月から、世帯単位で発行している被保険者証をカード化し、個人単位で発行

1,056万円

障害者グループホーム(ケアホーム)の設置

障害者グループホーム(ケアホーム)の設置

1,423万円

障害者グループホーム(ケアホーム)の拡充

障害者グループホーム(ケアホーム)を1か所増設

1,903万円

障害者就業支援の推進

障害者就業支援のための障害者就業支援センターの設置、企業内通所授産事業への参加の拡大

560万円

商業振興事業の実施

空き店舗を活用した商店街の振興事業など

4,803万円

グリーンロード産業活性化事業の推進

産業振興展示作品案内の補助

教育・文化・スポーツを振興する

◆教育・文化・スポーツを振興する

4億2,090万円

耐震補強(大規模改修を含む)の実施

14小・四小中校舎、四小・七小・十四小体育館で耐震補強工事、三小・十四小・四小中校舎、四小・七小体育館で大規模改修工事を実施

800万円

家庭で生活学習の実施

二小・三小・四小・五小の夏夏による再生、維持管理体制の強化

895万円

小学校校舎のスクールガード(学校安全警備員)の配置

1391万円

特別支援教育のための教員研修、専門家による各学級巡回相談

63万円

新エデュア・スクールの推進

六小に、保護者・地域住民が学校経営に参画する、学校経営協議会を設置

32万円

小平地域教育サポート・ネットの充実

ボランティア活動支援講座・コーディネーター養成講座などの開催を2校分拡大

461万円

放課後子ども教室事業

四小・八小に、放課後の子ども居場所を設け、地域住民との交流活動を実施

111万円

多摩六都公園の高校生によるダンスフェスティバル(仮称)の開催

258万円

新平橋田中彫刻美術館の活性化

井原市立田中美術館所蔵作品の展示、平橋田中作品の修理

次世代育成を拡充する

◆次世代育成を拡充する

800万円

多摩・島しょ子ども体験塾事業の実施

児童館観劇会、よさこいスクールダンスフェスティバル、親子でフライング体験事業など10事業を実施

1,054万円

児童虐待防止事業の拡充

子ども虐待防止センターに児童虐待対応専門の相談室の設置、虐待防止ワーカーの配置

3,750万円

児童クラブの拡充

十一小に60人定員の児童クラブを新設

1,525万円

乳幼児医療費助成事業の拡充

乳幼児医療費のうち自己負担分を助成する制度で、所得制限廃止対象を、現行の5歳未満児から義務教育就学開始の児童に拡大

699万円

多様な保育サービスの推進

病児病者保育を1か所、一時保育を2か所実施

1,247万円

幼稚園と保育所を一体化した「認定こども園」創設に伴う、市内幼稚園での開設準備・運営費補助など

都市基盤整備を推進する

◆都市基盤整備を推進する

1億円

小川町一丁目土地地区画整理事業の実施

1,540万円

土地区画整理組合が行う造成工事などへの支援

540万円

小川駅西口地区再開発事業の推進

準備協議会設立に向けた活動費補助、コンサルタンによる設立支援など

2億9,021万円

都市防災総合推進事業(都市計画道路3・4・10号線の整備)

災害時の消火活動などを容易にするため、都市計画道路3・4・10号線の整備など

1億7,000万円

道路整備事業の実施

道路新設改良工事、道路維持補修工事、私道整備に対する助成

4,000万円

新橋堤防整備事業の推進

老朽化した橋のさび止め塗装、階段の補修、手すりの新設など

3億6,298万円

公共下水道雨水整備の推進

雨水管渠工事などの実施

1,900万円

新エデュア・スクールの新たな試行運行

新たな試行運行に対する運行経費補助と検証のためのフォローアップ調査

安全・安心と快適環境を創出する

◆安全・安心と快適環境を創出する

895万円

新小学校校舎のスクールガード(学校安全警備員)の配置

2億9,021万円

都市防災総合推進事業(都市計画道路3・4・10号線の整備)

災害時の消火活動などを容易にするため、都市計画道路3・4・10号線の整備など

1億7,000万円

道路整備事業の実施

道路新設改良工事、道路維持補修工事、私道整備に対する助成

4,000万円

新橋堤防整備事業の推進

老朽化した橋のさび止め塗装、階段の補修、手すりの新設など

3億6,298万円

公共下水道雨水整備の推進

雨水管渠工事などの実施

1,900万円

新エデュア・スクールの新たな試行運行

新たな試行運行に対する運行経費補助と検証のためのフォローアップ調査

行政を再構築する

◆行政を再構築する

430万円

自治基本条例づくりの推進[再掲]

1億円

土地開発公社所有地の取得

22万円

新行財政再構築プランの推進

(仮称)行財政再構築推進委員会の設置

11万円

新行財政再構築プランの推進

市政全般について有識者による助言・提言など

「そのためにはどんな事例にしたらいいか、」

「その際の論点、争点は何か」というテーマで討議をしました。

◆第4回市民の会議(3月16日の午後7時から、参加者32人)

3つの部会(こたけ、前年度に出された意見をまとめる「目標を達成するためのには、どんな事例にしたらいいか、」を討議すればいいか、というテーマで討議)しました。

◆津田塾大学

費用 対象、保育の有無 申込み方法など、詳しくはお問い合わせください。